

令和7年度 第2回 佐久間中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年6月10日(火) 14時20分から16時30分まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 高氏 秀佳、笹野 訓子、奥山 和子、鈴木 千穂
- 4 欠席委員 向坂 美保、片倉 美咲、本家 美佳
- 5 オブザーバー 鈴木 充弘(佐久間支所地域振興グループ長)
長谷川陽子(佐久間図書館)
山本 巖(前 運営協議会委員)
- 6 学 校 小出 義幸(校長)、鈴木 政晴(教頭)、高原 英樹(教務主任)
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 新聞千代子
- 9 議長 の 選 出
司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 10 会 議 記 録
委員総数7名のうち4名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
- 11 熟 議
(1)生徒の「自律的な学び」への支援について
 - 昨年度の成果について(教頭)
 - ST地域交流会(6月10日)の感想、意見
 - ・ テーマと真剣に取り組んでいる生徒に対して、どういった言葉を選び発言したらよいか、答えをどこに見出せばよいのか、聞かれたことへの答え方を難しく感じた。(高氏会長、笹野委員)
 - ・ 昨年度と比べ生徒の進行の時間配分や取りまとめがうまく、しっかりしてきていると思う。また、子供たちが佐久間について真剣に考えていることを実感し、私たち大人も負けずにがんばらなくては、と思った。(笹野委員)
 - ・ 3年計画の初年度は手探りの状態であったが、1年間やってみてとても深く広がって積み上げができていよう感じた。ただ、生徒が聞きたいことに対して我々に知識がなかったり、町内の事情を知らなかったりして、子供が求めている答えを提供できないといったもどかしさがあった。生徒が事前に考えた質問をこの会の事前にもらえると準備ができ、もっとよい回答ができたのではないかと思う。(鈴木千委員)
→探究アドバイザーで依頼した方の中には、事前に生徒からの質問を学校へ問い合わせいただいた方もいた。(教頭)
 - ・ 子供たちの前向きな様子と真剣な姿勢が伝わってくる。地域に愛着を持って

テーマに沿って探求するといったことが、自分たちの中学生時代とは違い、「こんなことを中学生ができるのか」と感心した。今後でもできる限り協力したい。(奥山委員)

- ・ 生徒による会の進行が整理されており、とても分かりやすく構成されていた。また、テーマについて何を知りたいのか、どうしたいのか等、昨年よりもかなり進歩、向上した姿が見受けられた。(山本オブザーバー)
 - ・ 生徒はタブレットを使って、上手に各自のテーマをプレゼンしてくれた。ICTを使いこなしている中学生に驚いた。(鈴木充オブザーバー)
 - ・ 事前に具体的な質問をいただければ、探究活動アドバイザー相互での情報交換や得意分野の分担などもできると思う。(長谷川オブザーバー)
- 地域交流会は、「これからどうしようか、」という道を探していく場で、この会で答えが出なくてよいと思っている。生徒は「大人たちも迷っている、大人が悩むこともあるんだな」「もっと詳しく知っている人を探そう」「9月までに何を調べたらよいか」など、生徒なりに今日のアドバイスを基に考える時間も大切。答えが出るとそれで終わってしまう。インターネットで調べるとすぐに検索できる時代の中で調べてもわからない部分を探り、どこからどうしていこうかと考えることは大変貴重で大切だと考えている。(教頭)

(2) 休日部活動の地域移行(展開)について ※1年間の試行

国や市からの軌道修正が行われるため、今後いろいろな内容の変更等が予想される段階だが、できる限り佐久間中学校や小学校の生徒児童が取り残されることのないよう、早めに準備を進めている状況。活動の輪、範囲を広げられるよう地域の方々に力添えをいただきたい。(校長)

- 運営母体の組織についての説明(教頭)
 - ・ 佐久間地区 地域クラブ規約(案)
 - ・ 役員名簿(案)
 - ・ 会計(予算素案)
- 当面の予定(教頭)
 - ・ 回覧板による地域人材の発掘
 - ・ 活動を「CSだより」で広報

(委員、オブザーバーより)

- ・ 未着手の学校が多い中、他校と比べて対応が早い。(笹野委員)
- ・ 協力してくれる方が移動しやすいようCSだよりに主な活動場所を入れたらどうか。(山本オブザーバー)
- ・ 子供も大人も少ない現状で修正を加えながら、また流れを考えながら佐

久間ならではの活路を見い出せればよいと思う。(高氏会長)

- ・ スクールバスでの移動は可能か。その他に課題はあるのか。(笹野委員)
→例えば、使用後のグラウンドやテニスコートの整備、テニスのネットが破れた等の場合の責任の所在や費用など設備に関すること。県所有の施設(テニスコート、弓道場)の使用許可。参加者のスポーツ保険など。今後出される浜松市の方針を見ながら、分校(県立)との意見交換の場をもち、課題を1つずつクリアしていく。(校長)

以上の説明、熟議を経て、全員意義なく、これを承認した。

12 報告

- コーディネーターによる職場体験の受入先との連絡調整について(教頭)
- ・ 図書館、コープの体験を実際に見られてよかった。生徒が生き生きとしていた。(奥山委員)
- ・ 希望した動機が事前に分かっていたので、受け入れる側として、生徒の希望に叶う活動を準備できた。生徒が企画したミニ展示が好評であった。(長谷川オブザーバー)
- ・ コーディネーターが学校の様々な活動のサポートをしてくれてありがたい。昨年度は資源回収でも地域の声を集めてくれた。(高氏会長)

13 連絡

- ・ 学校運営協議会主催 運動場クリーンアップ作戦について
→本年度、9月11日(木)を計画している。案内を回覧板にて配布する。
- ・ 次回会議は10月23日(木)14時30分～16時(含授業参観)佐久間中学校会議室にて開催予定。